

5.18-20ストを ひきつぎ

5.27スト

(千葉みと
17:30結集)

日刊 勤労千葉

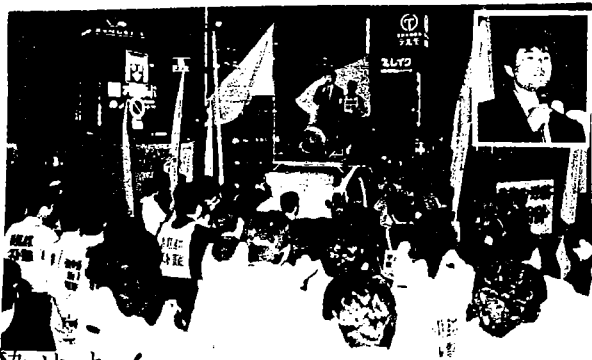
1988.5.24
No.2821

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（22）七〇七

この決起が敵をひきまわす

五・一八スト当日敵は、たかだかひとりの一時間の時限ストに、当局の千葉支社をあげた全力動員、県警も機動隊を配備するなどの弾圧体制をしき、また俺の行動をスト決行中は無線を使い逐一報告したり、普段は自動キップ売り場の防犯用を使用しているカメラの向きをかえ、売店を写し、一日中監視をしていた。ひとりの決起が敵を一日中ふりまわした。痛快な気分です。

「もうこれ以上ガマンが出来ない」
こうした組合員の気持ちがこのストに結びついたと思う。やはりなめられたら、当局はやりたいた放題に攻撃をしてくる。なめられないようなたたかいをやりきろう！
五・一八ストは組合員も二六五名結集し大勝利したと思う。さらに団結を深めるために頑張ろう！



「決起」が 当局・革マル鉄道労連に 勝ちなことはさせない！

亀戸駅
滝口幕張支部長

五月二十日、亀戸駅は早朝から制服・私服警官と機動隊約五百名の異常な戒厳体制に置かれた。私のいるミルクスタンドの周辺にも機動隊が列を組んではいかいし、威圧している。
わたしはこみあげてくる激しい怒りをおさえることはできず、駅長に職場から警官を退去させるよう申し入れる。

も、その困難を克服して堂々と職場と組織を守りきっていることにある。
こうした全組合員のひとり一人の奮闘が情勢を動かしている。もうこれ以上、当局・革マル鉄道労連どもに勝手なことはさせないというのが組合員の率直な気持ちだと思ふ。
私は、寄せられた御支援・御協力が心から感謝し、今後もより一層決意を燃やし先頭でがんばる決意です。ともにたたかいますよう。

こうしたなか、私は十二時四五分、権力・当局のスト圧殺の重包囲をもとめせず結集した組合員・支援の労働者の厚いスクラムに守られ「ストライキを決行します」ときっぱり宣言した。このときはジンと熱いものがこみあげてきた。たったひとりのストライキでも組織の総力を傾け、全組合員がたたかいを我がものとして受けとめ起ちあがるなら敵を震えあがらせる大きな威力を発揮できることを立証した。
この二拠点のストライキを支えた力は、予想をこえた組合員の大結集であり、役員・活動家を切り取られようと

(5.18. 千葉駅をうずめ尽くした400名の結集！)

